

「子どもたちは主の賜物 胎の実は報酬。」 (旧約聖書 詩篇127篇3節)

妊娠・中絶の相談は10代・20代の若い人のためのもの、というイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。でも実は、そうとは限りません。今年上半期の相談者の内訳を見ると、相談者の年齢で一番多いのは30代です。40代のご相談も珍しくありません。ある程度人生経験を重ねたタイミングでの妊娠・中絶で悩む方が多いのです。実際、相談者の4人に1人はお子さんがいらっしゃいます。

出産・育児の苦しみも喜びも身を持って知っている人たちが「この子は産めない」「産みたいけど産まない方がいいのかもしれません」という判断に追い込まれるのはとても悲しい現実です。経済的な不安やワンオペ育児、高齢出産、仕事との両立など、悩む理由はさまざまですが、共通して言えるのは、我が子の幸せ、家族の幸せを願っているということです。その願いの中で、「今いる家族の幸せを守るにはもう一人産むことはできない」「この子を産んでも幸せにできない」と悩みます。



そのように子育て世代が追い詰められるのは、それぞれの家庭の問題、とは言い切れません。産む選択を難しくしている要因は私たちの周りに無数にあるのではないかと感じます。妊娠を報告した時の上司の表情。電車で赤ちゃんが泣き出した時の乗客の視線。「完璧な母親像」や「理想の家族像」を押し付けるSNSの投稿。それらの「日常に潜む子育ての壁」を崩すために、妊婦さんや子育て世代と同じ社会に生きる私たちにできることがあるはずです。このニュースレターをご覧のお一人お一人の力が必要です。神様からの贈り物である命を皆で喜び、この社会の中で宝物として育てしていくことができる事を心から願っています。

代表 富田美代子

←写真の男の子はホームステイ卒業生のお子さん。タンポポのお花を富田の髪に挿してくれる優しい子に育ちました。

2025年上半期(1-6月) 活動報告

＜相談実績(新規相談者数)＞ Phone/email clients

妊娠 Pregnant	79	相談中に出産を決心：6名
中絶後 Post-abortion	72	ステップ学習開始：21名 ステップ学習終了：6名
その他 Other	4	
合計(人)	155	面談・同行：1名

＜ホームステイ実績＞ Homestays

特別養子縁組 Adoption	2
シングルマザー Single mother	1
その他 Other	0
合計(人)	3

半年間に3名の新規ホームステイの受け入れがあり、にぎやかな上半期となりました。電話・メールの相談も、過去最多だった昨年と同程度の頻度でいただいています。中絶後カウンセリングでは、昨年より取り組んでいた動画制作が完了し、テスト期間を経て4月から動画を使ったカウンセリングを正式に始めることができました。

特別養子縁組を選んだホームステイのインタビュー

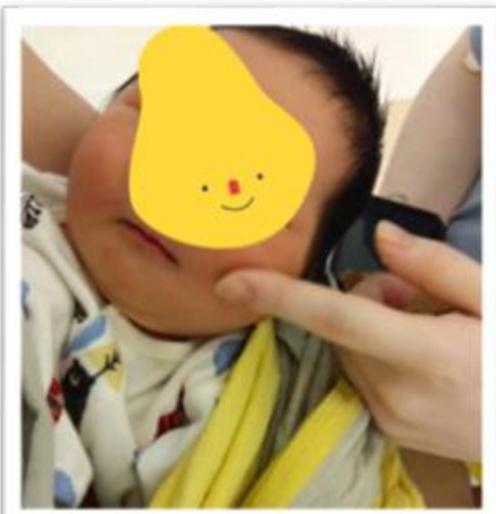
1 どのようにしてライフ・ホープ・ネットワーク(LHN)に来ましたか？

もともと生理不順だったので生理が来ていないことも気にしていませんでした。友だちにお腹の膨らみを指摘されて初めて気づきました。友だちがくれた検査薬で検査をしたら陽性で、「まさか…」と思いました。

病院に行くと妊娠7ヶ月と言われました。どうしようと思っていた時に、ディスカウント店のトイレに貼ってあった妊娠相談窓口の情報を見て、最初そこに連絡をしました。そこで、名古屋市内で妊婦さんのサポートをしているLHNのことを教えてもらいました。

2 LHNでの生活はどうでしたか？

最初にシンシアさんに会った時にはびっくりしました。もつと「ザ・職員」みたいな人を想像していたら、外国人だし、でも私も知らないような日本語を知っているし。生活にはすぐ慣れました。個室で過ごせるので、誰かと一緒に生活をしているという感じもそれほどなかったです。初日の夜に、もう一人のホームステイのAさんと3-4時間話して、それで緊張が解けたかなと思います。



3 特別養子縁組はどのように決めましたか？

特別養子縁組はかなり前から決めていました。でも、出産の少し前に、昨年ホームステイをしてシングルマザーになったBさんと話して、シングルで育てる事もできるんだな、と思って少し揺れました。最終的には、自分自身もまだ体調の問題があつて通院が必要だし、自分の生活を安定させるのが先だと思って特別養子縁組を決めました。

4 出産はどうでしたか？

陣痛は思ったより痛くなかったです。でも3,900gの大きな子だったので、肩が当たる時に痛くて、生まれてきた子に「大きすぎだよ！」と怒りました（笑）

入院中は赤ちゃんのお世話をしました。1時間ごとに泣く声が新生児室から自分の病室にまで聞こえてきて、そのたびにミルクをあげに行っていました。

養子縁組斡旋団体の職員の方に赤ちゃんを渡す日は、大号泣しました。その後は比較的すぐ回復できたかなと思います。養親さんから赤ちゃんの写真も送ってもらう予定です。

5 今後のことについてはどうですか？

高校を中退しているのですが、今、高卒資格を取るための準備をしています。ここにいる間にマイカ（シンシアの息子、ダウン症）とよく遊んでいたら、そういう仕事をシンシアさんに勧められたので、マイカのような子がいる場所（障がい者施設など）で働きたいなと思います。

ここに来て話することで、自分の状況をポジティブに捉えられるようになりました。今妊娠して悩んでいる人も、相談してほしいと思います。

LHNスタッフブログ アクセスランキング(2025年1-6月)

- 「初期のうちに」が半分しか正しくない理由
- 創立20周年！
- 不妊治療で授かったけれど
- 特別養子縁組 実親体験記第二弾（1）

ホームステイのインタビューや日々の出来事、カウンセラーの思いなどをブログに書いています。
ぜひご覧ください。



中絶をキャンセルして出産したホームステイのインタビュー

1 妊娠がわかった時どう思いましたか？

彼と別れようと思って1ヶ月期間を空けていた時に妊娠がわかつて、どうしようと思いました。彼に言ったらその時は喜んでくれたけれど、彼も無職でお金がないし、不安でした。

当時住んでいた施設の職員に中絶を勧められました。産んだ後にかかるお金よりも中絶の方が安いので、中絶した方がいいと思って病院の予約を入れました。

2 中絶をやめたのはどうしてですか？

知り合いに相談をして、その人がライフ・ホープ・ネットワーク(LHN)を紹介してくれました。それがなかつたら中絶していたと思います。

私はクリスチャンの家庭で育ったから、命を殺したくなかったです。この子は自分で望んで私のお腹に来たわけではなくて、神様の意思で命が宿っていると思うと、中絶の決断ができなくなりました。ぎりぎりまで考えて、中絶の予約の前日に「できません」と病院に連絡しました。

産むと決めた後も、不安は消えませんでした。初めての妊娠で、自分の体がこれからどうなっていくのだろうという恐怖もありました。つわりもしんどいし、精神もしんどいし、心と体が追いつかない感じでした。

3 LHNでの生活はどうでしたか？

LHNでホームステイが始まって、不安や恐怖がゼロになったわけではないけれどやわらぎました。相談できるところがある、不安を話せる人がいることが良かったです。一人だったらどうなっていたか想像できません。

4 実際に出産を終えて、どうですか？

出産直前までは怖かったのですが、助産師さんからのお話で「でかいう〇ちを出す感じ」と言われて安心しました。想像できるようになつたらワクワクしてきました。

実際に産んだら…(はい、その通りでした)(笑)

陣痛は痛かったけど生まれてきてくれてありがとうという気持ちです。産んでよかったです。中絶していたらこの子に会えていなかたので…。みんなから愛される、正直な人に育ってほしいなと思います。

今悩んでいる人は、一人で抱え込まなくてもいいです。役所でも相談できる場所があります。誰かに相談してください。



2025年上期 ニュース&トピックス

- 2月9日 共同通信より、中絶後のケアについての記事が配信されました。その配信を元に各地方紙で取り上げていただきました。(写真は東京新聞)

- 6月13日・14日 富田がNPO法人いるから主催の研修会に参加。妊娠SOS相談や居場所支援に携わる全国から集まった参加者とともに、より良い支援のための知識と実践を学びました。



インターン生の恵み

キリスト聖書神学校(CBI)から、2名の学生がインターンシップの働きをしてくださいました。沢田のゆりさんは助産師の経験を活かし、初めての出産で不安な妊婦さんのケアをしてくださいました。相場万祐子さんは3ヶ月間ホームステイの家に下宿しながら、毎日の生活を共にしてくださいました。普段のスタッフ以外の学生がこのように密接にLHNの働きに関わってくださったことは大きな恵みでした。インターンを終えたお二人からの感想をご紹介します。

関わさせていただいた妊婦さんは妊娠後期でお産が近づいている方々でした。お産のイメージがなく一つ一つゆっくりと分娩教育をさせていただくことができ、実際の分娩の際に役に立ったとお話を伺うことができました。また、ある妊婦さんのお話を聞く中で頭痛や目の痛みが慢性的にあったことをお話ししてくださり出産前にそれらの検査に繋げることができました。ライフホープネットワークを利用される方の中には自身の体や心を大切にすることが難しい状況の中で過ごされてきた方々もあり、このインターンを通して少しでも神様の愛で関わり、無事出産を迎えたこととても感謝しています。インターン後も続けてライフホープネットワークの働きのためにお祈りしています。（沢田のゆりさん）

シンシアさんはいつも歌を歌っていて、マイくんもいつもニコニコ、ホームステイの子たちともすぐに仲良くなり、とても楽しい毎日に感謝でした。夕食後は皆でデボーションやお祈りをしますが、キリスト教が初めての子にも、神様について分かち合えたことは嬉しかったです。ライフホープネットワークの働きの一つは、神様のものである大切な人の命を守ることです。これからもLHNを通して神様の栄光が現されることをお祈りしています。（相場万祐子さん/写真はご本人提供）



サポーター募集中です！

ライフ・ホープ・ネットワークは皆様からのご寄付のみで運営されているボランティア団体です。支援を必要としている女性たちと小さな命のために安定的に活動を続けるため、一人でも多くの方にサポートいただければ幸いです。

銀行振込

- ゆうちょ銀行の口座から
00850-5-131374
「ライフ・ホープ・ネットワーク」
- 他行の口座から
ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900 / 店番 089）・当座
口座番号 0131374

クレジットカード

Ready For（レディ・フォー）のサイトからクレジットカード決済ができるようになりました！
<https://readyfor.jp/projects/lifeopenetwork>（毎月定額のご寄付になります）



一般社団法人 ライフ・ホープ・ネットワーク

- 事務局：〒454-0023 名古屋市中川区石場町2-23-2 ●TEL：052-363-3393
- カフェモナミ：〒454-0022 名古屋市中川区露橋2-29-13 ●Email: support@lifeopenet.com

<https://www.lifeopenet.com/>



lifeopenet



life_hope_network



LifeHopeNetwork